

聖書箇所	本文【新改訳改訂第3版】	他の訳 (主体が神の場合は太字)	文法情報
創 3:22	神である【主】は仰せられた。「見よ。人はわれわれのひとりようになり、善悪を知ようになった。今、彼が、手を 伸ばし 、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。」	(手を)伸ばす。	Qal 未完了 3 男単
3:23	そこで神である【主】は、人をエデンの園から 追い出された ので、人は自分がそこから取り出された土を耕すようになった。	追い出す	強意形 ピエル 態 3 男単
8:7, 8, 9 10	鳥を(鳩を) 放った	放した。放った、	強意形 ピエル 態 3 男単
12:20	パロはアブラムについて部下に命じた。彼らは彼を、彼の妻と、彼のすべての所有物とともに 送り出した 。	送り出させた(共) 送り去らせた(口)	強意形 ピエル 態 3 男複
18:16	その人たちはそこを立って、ソドムを見おろすほうへ上って行った。アブラムも彼らを見送るために、彼らといっしょに歩いていた。		強意形 ピエル 態不定詞
19:10	すると、あの人たちが手を 差し伸べて 、ロトを自分たちのいる家の中に連れ込んで、戸をしめた。	伸ばす	Qal 完了 3 男複
19:13	「・・・彼らに対する叫びが【主】の前で大きくなったので、【主】はこの町を滅ぼすために、わたしたちを 遣わされた のです。」	遣わされた	強意形 ピエル 態 3 男複
19:29	こうして、神が低地の町々を滅ぼされたとき、神はアブラムを覚えておられた。それで、ロトが住んでいた町々を滅ぼされたとき、神はロトをその破壊の中からの がれさせた 。	救い出された (口、共)	強意形 ピエル 態 3 男単
20:2	アブラムは、自分の妻サラのことを、「これは私の妹です」と言ったので、ゲラルの王アビメレクは、 使いをやって 、サラを召し入れた。	人をつかわして(口)	Qal 完了 3 男単
21:14	翌朝早く、アブラムは、パンと水の皮袋を取ってハガルに与え、それを彼女の肩に載せ、その子とともに彼女を 送り出した 。	連れ去らせた(共)	強意形 ピエル 態 3 男単
22:10	アブラムは手を 伸ばし 、刀を取って自分の子をほふろうとした。	(手を)差し伸べて	Qal 完了 3 男単

22:12	御使いは仰せられた。「あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」		Qal 未完了 2 男単
24:7	【主】は、御使いをあなたの前に遣わされる。あなたは、あそこで私の息子のために妻を迎えなさい。		Qal 未完了 3 男単
24:40	すると主人は答えました。『私は主の前を歩んできた。その【主】が御使いをあなたといっしょに遣わし、あなたの旅を成功させてくださる。		Qal 未完了 3 男単
24:54	朝になって、彼らが起きると、そのしもべは「私の主人のところへ帰してください」と言った。	帰らせてください	ピエル態命令 接尾辞 1 人称
24:59	そこで彼らは、妹リベカとそのうばを、アブラハムのしもべとその従者たちといっしょに送り出した。	送り去らせた(口) 出立させことにした(共)	強意形 ピエル態 3 男複
25:6	しかしアブラハムのそばめたちの子らには、アブラハムは贈り物を与え、彼の生存中に、彼らを東のほう、東方の国にやって、自分の子イサクから遠ざけた。	離れた(口)	強意形 ピエル態 3 男単 接尾辞 3 男複

●神は、エデンの園からアダムとエバを「**追い出し**」ました。しかしそれは、彼らを再び回復して、「**救うため**」に、神の使いを「**遣わされる**」方なのです。また、人が主体となる場合には、神の命令に従ってそれを「行使する(手を伸ばす)」、「送り出し」、また息子を守るための配慮として他の義兄弟を「遠ざける」という意味に使われています。これらはすべて、神のご計画とみこころ、御旨、目的を実現させるための「シヤーラハ」なのです。伝道者の書 11 章 1 節も「あなたのパンを水の上に投げよ」(「投げよ」の他に適訳が見つかりませんが)、という意味もこの視点から解釈すべきなのです